

重要インフラの情報セキュリティ対策

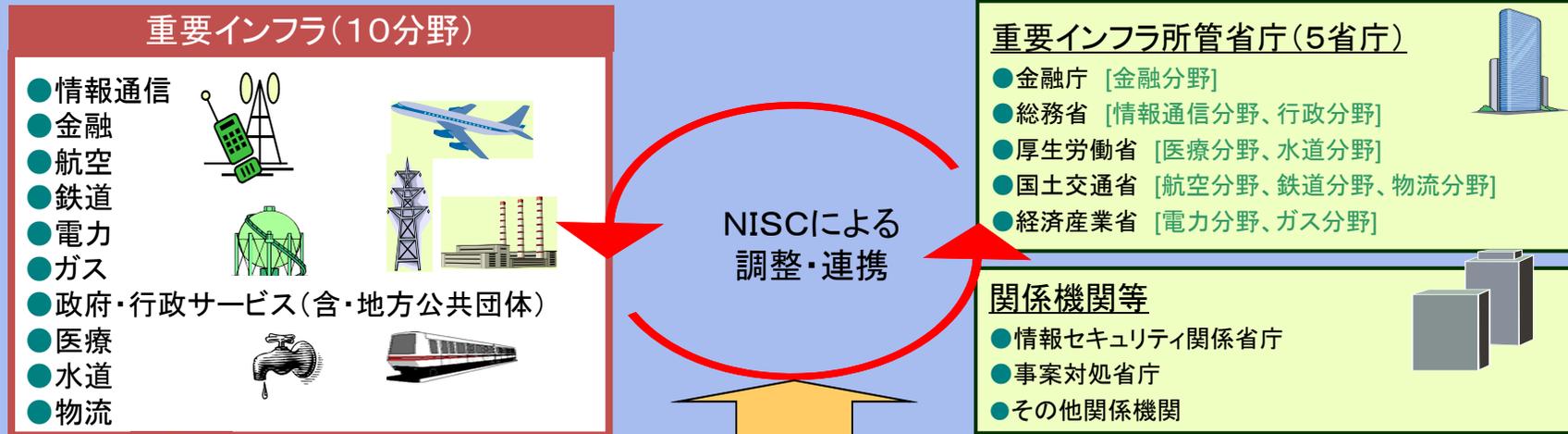
IT障害を引き起こす脅威の類型

- サイバー攻撃など意図的要因
- 非意図的要因
- 災害や疾病
- 他分野からの波及

官民連携による重要インフラ防護の推進

重要インフラにおけるIT障害が国民生活、社会活動に重大な影響を及ぼさないことを目指す

- ① 予防的な対策と再発防止対策の両側から対処(具体的には、安全基準の整備、情報共有体制の強化など。)
- ② 重要インフラ事業者等における情報セキュリティ対策の浸透状況や急速な技術進展等を踏まえたPDCAの促進



国民を守る情報セキュリティ戦略(第2次行動計画)

(1) 安全基準等の整備・浸透



重要インフラ各分野に横断的な「指針」に基づいて、「安全基準」等の浸透を図る

(2) 情報共有体制の強化



情報の共有により、個々の主体による孤立した対応から、社会全体としての対応を促進

重要インフラ防護対策の向上

(3) 共通脅威分析



複数分野に共通する潜在的な脅威の分析

(4) 分野横断的演習



防護対策向上のための課題抽出

環境変化への対応



刻々と変化する環境の変化への対策の機敏な対応